

2025年2月18日

阪神高速道路株式会社

入札説明書及び設計図書等に関する質問回答書

業務名 : 淀川左岸線延伸部 地下水観測業務(その5)	
質問提出日:2025年2月13日 質問回答日:2025年2月18日	
質 問	回 答
番号1 アセス公表資料のとりまとめの数量について 2月12日付の質問回答書において、「設計業務等標準積算基準書」〔中略〕p.2-2-1、1-1打合せ等における関係機関協議資料作成の歩掛を参考としています。」との記載がございますが、該当の歩掛は1機関・1業務あたりの歩掛となっております。 本業務では1ヶ月に1度、合計36回アセス公表資料のとりまとめを行うこととなりますが、質問回答に記載されている「関係機関協議資料作成」を36回(機関)分計上するのか、36回分をまとめて1回(機関)分として計上するのか、どちらでしょうか。	アセス公表資料のとりまとめについては、本業務にて実施する分をまとめて計上してください。
番号2 既存観測結果のとりまとめの数量について 2月12日付の質問回答書において、「全国標準積算資料(土質調査・地質調査)〔中略〕IV107表を参考としています。」との記載がございますが、該当の歩掛は1式あたりの歩掛ではなく、1箇所当りの歩掛となっております。 本業務の積算においては、調査地点数が15箇所(地点)であることから、既存観測結果のとりまとめを15箇所(地点)計上するものとの認識でよろしいでしょうか。異なる場合、数量をお示しください。	既存観測結果のとりまとめについては、特記仕様書3-2-2 自記水位計観測(データ整理)に示す孔数を対象に計上してください。
番号3 地質調査業務の端数処理は、有効数字4桁(5桁目を切捨て)で宜しいですか	記載いただいた通りです。
番号4 設計業務等標準積算基準書(令和6年度版):国土交通省大臣官房技術調査課のP2-2-39、5-6報告書作成の補正係数は1.0で宜しいでしょうか	本業務の調査種目数は1種目で考えています。
番号5 打合せ・資料作成と記載がありますが、打合せは地質調査P2-2-1か土木設計業務P3-2-1でしょうか。	打合せについては「設計業務等標準積算基準書(令和6年度版):国土交通省大臣官房技術調査課」のp.2-2-1、1-1打合せ等の歩掛を参考としています。